

第100号 2015年(平成27年)2月10日発行

発行 全国通信三田会
発行人 山岡 恒夫
事務所 〒300-1282 茨城県牛久市
編集人 幸治 典子

100号記念号



全国通信三田会報



蠣崎元章センター部長

毎号拝読することを業務のうえからも私的にも大変楽しみに致しております。この度、全国通信三田会報100号を発行されますこと誠に御慶び申し上げます。これら

慶應義塾 塾員センター部長 蠣崎 元章



三田会活動支援に努めてまいり所存でございます。何とぞ倍旧のご指導とご鞭撻を下さいますようお願い申し上げます。さて、会報は文字や画像

43号 H4.12.10



創刊号 S41.10.1



会報編集の思い出 全国通信三田会会長 山岡 恒夫

私は、昭和四十九年十月発行の第17号から六十二年八月発行の第34号まで、会報編集に携わりました。最初は、平林敬明編集

59号 H11.2.1



83号 H19.2.1



70号 H14.10.1

88号 H21.1.20



全国通信三田会報 100号

本年より、入会金を廃止し、多くの方に同窓会への入会をお勧めいたしております。新卒の方、また、まだ全国通信三田会に入会でない方も、これから三田会での出会いを楽しんでください。

平成四年、通信三田会創立四十周年記念募金で、夢に見ていたパソコンによるデータベースが構築され、現在に至っております。

元通信教育部長 池田真朗教授の最終講義を受講して



1月9日金曜日、2時限(10時45分から12時15分)に、今年で慶應義塾を退官される池田真朗教授の吉日最終講義が行われました。

最終講義は、一般公開で行われ、慶應義塾や他大学の元・現役の教員、池田教授がお世話になった図書館の元・現役の職員、全国通信三田会の会員ら数人、そして学生など150人ほどが受講しました。

コーディネーターにより紹介された池田教授の略歴です。旧・新司法試験審査委員(新試験民事系主査)、国連国際商取引法委員会作業部会日本代表、日本学術会議法学会委員長等を歴任。現在、金融法学会副

池田教授は、論文の作成を教える時に、テクニックを教えるのではなく、学問研究の本質を教える、問題発見、問題設定が大切、文科系では指導教授はテーマを与えてはいけないと話されました。

そして、最後に送ることを述べられました。「巨匠のひと筆」です。印象派の巨匠ルノワールは人物画を描く時、最後に瞳に白い点の固まりを置きました。それと同じように、



愛知通信三田会会長 佐藤範男君の急逝を悼む

愛知通信三田会の佐藤範男会長が二〇一四年一月二二日に心筋梗塞で逝去されました。享年65歳でした。謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げます。

愛知通信三田会の新塾員歓迎会(6月)、第22回東海地区合同通信三田会(10月、愛知通信三田会が幹事)では、会長として細かい気配りをして頂き大成功でした。そして本年一月の総会の準備もされていきました。

通信三田会をこよなく愛していた佐藤会長は、天国から私達通信三田会の今後の活動を暖かく見守って下さると信じています。佐藤会長の残された立派な業績に恥じない様に、会員一同頑張っていくつもりです。特に本年は佐藤会長からの提案もあり、愛知通信三田会創立25周年記念行事を計画しています。

論文を書き上げた後、論文を見直して最後に加筆することが大切です。完成したと思っ

多くの受講生が明日から池田教授の教えを実践しようと決意したはず。大切なのは、学説に忠実な権威に気に入られる論文を書くことではなく、自分で構想を練って、最後の最後まで努力をして自分の論文を書くことです。

講義の最後に、池田教授に花束が贈呈されました。別れを惜しむ受講生たちが先生へのあいさつのために列をなしました。

3月7日土曜日15時から16時半に最後の退職記念講演「わが民法学と国際活動―国連、フランス、ブラジル、カンボジア」があります。三田キャンパス西校舎517番教室です。一般公開なので誰でも受講できます。(広報副部長 安東 幹・記)

《100号にあたって》

全国通信三田会報は、初代・宮木 巖君、二代・平林 敬朗君、三代・山岡 恒夫君、四代・木村 徳夫君、五代・中尾 ひろえ君、そして現在、私が担当させて頂いております。

今日、情報媒体は多様化し、会報誌でなくとも情報を発信できます。しかしながら、後世に三田会活動の歴史を伝えるには、すぐに手にとって見れる紙誌が何よりではないかと思えます。

更に後輩が後に続き、末長く当会が発展することを切に希望しております。

広報部長 幸治 典子

会への連絡は下記へ

下記のようにご連絡くださるようお願いいたします。

- ◎会へのご意見など
事務所へは郵送のみでお願いします。
緊急の用件の場合
会長へ Tel 029-875-0533
山岡方(夜間7時~11時まで)
◎住所・姓名変更 退会 逝去者など
大土方 Fax 03-3846-2677
(住所変更は下記塾員センターへご一報！)
https://www.dc01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html
◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
〒340-0003 埼玉県草加市福荷 2-5-2
大川 成一方
◎「全国通信三田会報」原稿送り先
〒178-0061 練馬区大泉学園町 1-11-24
幸治 典子 方
Tel & Fax 03-3924-1626
Eメール kouchan@finesis.net
次号原稿締め切り 平成27年 5月末日
原稿字数 8000文字

第6回 北関東合同通信三田会 9/7 織田宗家の大名庭園や歴史民族資料館を見学



第6回北関東合同通信三田会は、平成26年9月7日(日)、茨城から9名、栃木から5名、群馬11名、全国通信三田会から来賓3名、合わせて28名の参加を得て開催された。

JR高崎駅に10時30分集合。小型観光バスと田山優一君運転の乗用車に分乗し、両車とも車中にて「開会の辞、塾歌斉唱、会長挨拶」の開会セレモニーを行い、11時に最初の見学地・多胡陣に到着した。

多胡陣は日本三古碑の一つで「七一年に中央政府の命により多胡郡を設けた」との記念碑であり、館長の計らいで三〇〇年を経てなお鮮明な銘文を直接、間近に見られたことは幸運であった。隣接する記念館で、学芸員から碑の詳しい説明を受けた。

続いて近くの「和膳・おかつ」で会食、懇親会を行った。中島由美子副会長の司会により、高木昂茨城会長、根本義夫栃木会長のご挨拶、さらに全国通信三田会の吉浜健二副会長、大川成一副会長、伏屋重晴顧問のご祝辞をいただいた後、矢島聖剛実行委員長の発声で乾杯となった。

参加者の自己紹介、近況報告でさらに会場が沸き、交流を深める事が出来た。

次の見学地は織田宗家八代一五〇年の史跡を辿る甘楽町・小幡。岡部一君、

野村丞君の案内で池泉回遊式の大庭園・楽山園見学。まず記念撮影をしてから楽山の頂上にある「梅の茶屋」まで登って三七〇年前の城下を偲び殿様気分を味わっていた。御殿跡を過ぎ拾九間長屋で小幡藩のビデオを見てから、中小路に沿った武家屋敷等を経て最後にレンガ造りの歴史民俗資料館を見学した。

ここには富岡製糸場に連なる養蚕に関する展示や、小規模ながら小幡氏・織田氏に関する展示があり、中でも注目目は福澤諭吉・小幡篤次郎共著の『学問のすすめ』初版本であった。また、小幡の町中に張り巡らされた雄川堰は今も住民の生活用水として利用されている。帰りは往路と同じ道を戻り、車中にて「閉会挨拶、次回担当栃木さんへの引継ぎ、若き血斉唱」の閉会セレモニーを行い、16時10分高崎駅到着、解散。日帰りのため、見学・懇親会とも十分な時間が取れないのは残念だったが、ご参加の皆様のご協力を得て楽しく有意義な初秋の一日を過ごせたことに感謝いたします。

群馬通信三田会
会長 横田春美・記

第8回九州合同通信三田会 9・27 福岡大会 福岡市の八仙閣本店で開催



第8回九州合同通信三田会福岡大会を当福岡通信三田会が当番幹事として、平成26年9月27日(土)に福岡市の八仙閣本店で、下記のとおり開催させていただきました。お陰様で多数のご参加を賜り盛会裏に開催できましたことを、関係の皆様へ衷心より厚くお礼申し上げます。今般の第八回九州合同通信三田会福岡大会は、出席者30名(当日欠席の堀田地域連絡部副部長含む)の多数のご参加を賜りました。

大会では、当福岡通信三田会の古賀副会長の司会により、塾歌を斉唱して開会いたしました。まず、当番幹事である当会の中野会長の主催者挨拶で、「7年前の平成19年に第1回を福岡で開催してから今回3巡目の九州・山口地区の開催となった」との挨拶がありました。続いて、来賓挨拶では全国通信三田会から伏屋顧問、地域連絡部鶴田副部長にご来賓を賜わり、伏屋顧問からは「盛大な開会おめでとうございます。今年の中四・関西・東海・北陸・北関東で合同通信三田会が開催された」とのご挨拶をいただきました。

また、地域通信三田会活動報告として、山口通信三田会由元会長、長崎通信三田会福岡事務局長、熊本通信三田会田口会長、宮崎大迫代表及び福岡通信三田会中野会長の順で、各地域通信三田会の活動報告がなされました。なお、当会坂井顧問からは、「慶應通信課程の認定、初の卒業生の誕生、中等野球が始まったこと及びオール慶早戦が福岡で開催された」などの歴史的な話が披露されました。

続いて、卒業論文発表会では澤田幹事から「九州北部の古代水田に関する考察」の論題で、①古代稲作水田の出現 ②九州北部における古代水田・初期祭殿遺跡 ③九州北部初期水田の特色・立地・水田区画の形状等 ④水田区画が小区画であることの要因等の発表がありました。

さらに、記念講演会では福岡三田会明石会長(現西日本鉄道(株)相談役)にご来賓を賜わり、演題「変化への挑戦」として貴重なご講演をいただきました。「福岡通信三田会」

講演をいただきました。「福岡先生は明治維新の前後で、1人で2つの人生経験をされた。私も人生で戦前戦後の2つの経験をし、西鉄では昭和30年代は鉄道・バス路線一色だったものが、昭和40年代のマイカー時代の到来により一変し、運輸業は全事業の約20%まで落ち込んだ。その後、西鉄は運輸業・不動産業・流通業・物流業・レジャーサービスの5部門が均等の事業に配分された」とのこと、常に変化への挑戦をしてきたことを西鉄14代社長として貴重な経験からのご講演により参加者から賞賛をいただきました。

この度の第8回九州合同通信三田会大会が、盛会な大会となりましたことを感謝申し上げますと共に、九州・山口地区の地域通信三田会の一一致協力の下で、楽しい交流が出来ましたことを、本大会の当番幹事を代表して、衷心よりお礼申し上げます。また、今回は福岡通信三田会の役員や会員の方々の多数のご出席をいただきましたことを感謝申し上げます。

最後になりましたが、今後も九州合同通信三田会大会の継続開催を図ることに引き続き、さらなるご発展をご祈念申し上げます。

福岡通信三田会
会長 中野 隆・記

岡山通信三田会 総会・山陽道紀行 備前焼の里伊部・刀剣の里長船の小旅行 明石 憲彦(岡山通信三田会会長) 9/25

昨年九月二五日(一四日)の小旅行(伊部の窯元・作家の見学)町並みの散策・刀剣の里長船・九州福岡の発祥地備前福岡と宴会(まつぎ亭)、三月一日の本会議・茶話会などの行事を決定した。

その後、清家塾長歓迎の岡山県三田会総会(明石会長ら八名の通信塾員が登壇し、一三二名の出席塾員に、来春の中・四国岡山大会への来賓を要請した)、今春の中・四国徳島大会、都鳥の会、慶友会との懇親会、茶話会(全日空ホテル)などの報告や、慶應義塾・各地の通信三田会、岡山会員の近況についての話があり、質疑応答も行われた。

一三時半マイカーで出発。岡山大会の会場(ゆうあいセンター)などを視察した後、岡山山陽道に沿う国道を東へ。県の三大河川と吉井川を渡り、新幹線・赤穂線に沿って走りJR伊部(いんべ)駅前へ。「備前焼伝統

産業会館」で二百名余の備前焼作家の焼き物(二千点以上)を見学した後、来春の「窯元・作家見学、町並み探索」などについて観光協会の係員と相談した。

物産土産店など散策した後西へ。香登(かがと)駅前を経て刀剣の里長船へ。「刀剣博物館」を見学した後、「備前長船鍛冶刀場」など日本刀製作過程の施設を見学した。時間が少なくなり、吉井川の備前大橋を渡って、両備ガールズ(松田家五代塾員経営の両備バス所有)へ移動。茅葺の古民



国道二号から国道二五〇号へ進み、北方に宇喜多直家居城であった「沼亀山城跡」を望み、上道・東岡山両駅前を経て、広業堂(武田修一岡山県三田会会長経営)の喫茶店へ。本日の調査により来春の小旅行を再協議した後、コーヒーや備前団子を楽しみながら談話。百間川を渡り、南にRSKメデアコムを見て、旭川の新鶴見橋を渡り、「喜怒哀楽」駐車場へ。来春までに数回の会合の約束をし、一七時半ころ解散。九名の参加だった。

会長紹介

静岡三田クラブ 奥田浩会長の素顔



奥田会長とは、実に30年になる長い付き合いとなる。昭和58年頃であったろうか、私が通信教育を始めた当時、勉学の要領も得ず、静岡慶友会の門を叩いたところ、奥田さんは、慶友会の会長をしていて、慶友会活動を積極的に引っ張っていらっしゃった。夏のスクーリングでのたまり場もそう、後身の活動を後押ししてくれていた。

奥田さんは、静岡市葵区駒形生まれの静岡育ち。血液型はAB型のみずがめ座(昭和31年1月28日生まれ)の58歳。名前の浩は、「こう」と読み、国会議員(故人)の塩谷一夫さんが付けてくれたとのこと。

慶應義塾大学は昭和59年法学部法律学科卒業。指導は小林節教授(憲法)。卒論のテーマは「私有財産権と公共の福祉」と、性格に似合わない堅いテーマを探究して、卒業された。平成3年に私が卒業すると、レールが敷かれていたかのよう、奥田さんの誘いで静岡三田クラブに入会。

「慶應は卒業してからが楽しい」と皆さんが言っておられるが、奥田さんはまさにその仕掛け人として、田辺さん始め、歴代静岡三田クラブ会長の頼れる存在として、活躍していただ。そのような奥田さんのバイタリティーはどこから出てくるのか?

本人曰く、外交的性格だが、基本的には物静か。朗らかで前向きな性格。また、奥様と

二人暮らし。静岡市と藤枝市の2軒の家を持つ。清水港には、先輩と共同の8人乗りヨットを所有。1級の小型船舶操縦士免許を保持し、ダイビングのライセンスも持っている。

が、最近、海にいけないのが残念。旅行も趣味なので、今まで行った国は数十か国。国内は、沖繩を除き、すべての都道府県に行ったことがある、とのこと。

好奇心旺盛でユーモアがあり、場を盛り上げることは天性のように思える。退職後は、世界一周クルーズをして、写真集を出版したいと夢も大きい。たぶん、奥田さんなら夢を実現させることだろう。これからも、多彩な趣味とあふれる行動力で、我々三田クラブ会員を楽ませてくれるであろう。

そんな奥田さん。世界を旅して、自分が生まれ育った土地がいかに良いか再認識し、静岡のことをこよなく愛する奥田さんの素顔が、少しでもお伝えできれば幸いです。

(副会長・加藤 弘明)

本の紹介

「ワルミキ・ラーマヤン」 2巻セット 定価九〇〇〇円 池田 運(ヒンディ語)訳 講談社ビジネスパートナーズ



交尾中の雄鳥を殺した猟師に呪いをかけた始祖詩人ワルミキに、創造神スランマさまが命令された。「その呪いの一句は、見事な四行詩になっている。それをラーム神王の神聖な物語に完成させなさい」。聖ワルミキが創造した最古の物語「ラーマヤン」の集大成。

茨城通信三田会 12/14 創立45周年記念祝賀会開催

茨城通信三田会、伏屋重晴、岡部一両顧問、吉濱健二、幸治典子両副会長、地域三田会から群馬・横田春美会長、同星野寿美幹事長、福島・森正次会長、東京・古谷昇会長、石川・徳光重希会長、千葉・中尾圭成子副会長と

平成26年12月14日(日)、水戸・三の丸ホテルに於いて、茨城通信三田会創立45周年の祝賀会(記念式典と懇親会)は開催された。

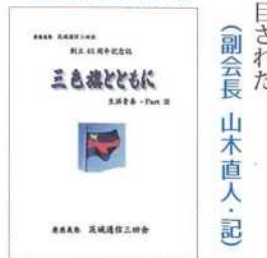


来賓として、慶應義塾塾員センター・嶋崎元章部長、茨城三田会・加藤啓進、城戸義明両副会長、加藤高蔵幹事、川崎洋事務局長、全国通信三田会・伏屋重晴、岡部一両顧問、幸治典子両副会長、地域三田会から群馬・横田春美会長、同星野寿美幹事長、福島・森正次会長、東京・古谷昇会長、石川・徳光重希会長、千葉・中尾圭成子副会長と

茨城通信三田会は、昭和44年12月14日に、水戸「ときわ荘」に於いて発会式を行い、組織がスタート、吉成貢初代会長(28年)、二代目五十嵐英雄会長(6年)、現在の三代目高木昂会長へと代わっても、着実に三田会の理念を守り掲げ、この創立記念日の良き日を迎えた。

会場には清家篤塾長より寄贈された飾り花が式典壇上に飾られ、塾歌斉唱、高野勇幹事の開会の辞、過去に会員だった物故者に哀悼の誠を捧げて黙祷した。続いて高木昂会長が開会のあいさつ、嶋崎元章塾員センター部長より茨城45周年に際して、心温まるご祝辞をいただいた。さらに来賓あいさつ、懇親会、1分間スピーチと、和やかに会は進み、創立45周年の節目を飾る一日となった。

『三色旗とともに』



高木会長はあいさつの中で「45年」と口では簡単に言え

ても、大変な長い年月を会員として過ごした過去は重いと話され、嶋崎塾員センター部長のあいさつも、45年の歳月を塾の塾長名を列挙されて、「この塾長の顔ぶれを見ただけでも、随分長く重い歴史がある……。」と回顧された。それは佐藤朔塾長、久野洋塾長、石川忠雄塾長、鳥居泰彦塾長、安西祐一郎塾長、現在の清家篤塾長であり歴代の輝く六代塾長の経緯になると話された。

副会長 山木直人(記)

第4回 東南アジア連合三田会総会 ジャカルタにて開催 11/21~25

「神宮球場へ応援に行き、若き血・勝った時の『丘の上』、そして『塾歌』を歌うことは素晴らしい」と。終始ユ一モアを交え穏やかに語られる池井先生に参加者一同楽しく感銘を受けた。

「第4回東南アジア連合三田会総会」は、22日19時から東南アジアの三田会を中心に二・三名が集い盛大に開催された。まず主催者のジャカルタ三田会麻生会長の挨拶・謝辞で開会。引き続き、塾長代行としてご参

カルタで開催の「第4回東南アジア連合三田会総会」を中心に、神奈川通信三田会の海外研修旅行に三田会メンバー24名が参加。全員元気に有意義に帰国することができた。

「第4回東南アジア連合三田会総会」は、22日19時から東南アジアの三田会を中心に二・三名が集い盛大に開催された。まず主催者のジャカルタ三田会麻生会長の挨拶・謝辞で開会。引き続き、塾長代行としてご参



加の増野匡彦常任理事ならびに塩尻孝二郎元駐インドネシア全権特命大使のご挨拶、慶應連合三田会会長からの祝電披露、鈴木保雄前バンコク三田会副会長による乾杯の発声で歓談に花が咲いた。[KJ]で有名なプロによるインドネシア独特の楽器演奏で会場の雰囲気側面から盛り上げていた。

最後に「若き血」を、応援指導部出身の地元三田会の複数の会員によるエールのもと全員肩を組んで合唱！ 第4回東南アジア連合三田会総会は和やかな思い出を残し、2年後のベトナムでの再会を約して22時頃に散会した。

最後に「若き血」を、応援指導部出身の地元三田会の複数の会員によるエールのもと全員肩を組んで合唱！ 第4回東南アジア連合三田会総会は和やかな思い出を残し、2年後のベトナムでの再会を約して22時頃に散会した。

最後に「若き血」を、応援指導部出身の地元三田会の複数の会員によるエールのもと全員肩を組んで合唱！ 第4回東南アジア連合三田会総会は和やかな思い出を残し、2年後のベトナムでの再会を約して22時頃に散会した。

わか町紹介 埼玉県草加



私の居住している草加市は、[そうか]と読むので私の居住地を聞いた人は「あ、そうか」と答える人が少なくない。年配の人には、「草加次郎」を連想するかもしれない。草加市には、昭和52年に親が中古の家屋を購入したので「管理人」というような気分で住んだ。私は典型的な「埼玉都民」で、活動の軸足は東京という意識が払拭できなかった。当初は、背後の深夜操業をしている工場に悩まされたり、草加駅前道路が冠水して長靴が役にたたなかったなど、よい印象だけではなかった。けれども、年金生活者になって

24時間市内にいと、市への関心と愛着がでてる。草加市は、埼玉県の南東部にあり東京都足立区に隣接する。都心から20キロ圏である。東武鉄道伊勢崎線の停車駅が市内に4つあり、昭和41年から地下鉄日比谷線の乗り入れができたので、都内への通学や通勤に便利である。国道4号線や東京外環自動車道が通る。最近では、国指定の名勝として、松原松並木を観光の目玉にしている。いわゆるベッドタウン化も顕著である。独協大学があり、森永卓郎独協大教授の無料講演会を聞きに行ったことがある。人口は24万人で面積は27キロ平方メートルである。市の形は、両耳が少しだけ飛び出したような犬の顔に似ている。江戸時代には奥州街道の宿場町であった。当時千住・越谷・幸手に次ぐ賑わいと言われた。「昔の草加は沼が多くアシヤヨシが繁殖して約400年前に



小田原北条氏に仕えていた大川図書(おおかわずしよ)が中心となって沼をうめてまっすぐに新道を開きました」と草加教育委員会編集の社会科副読本に解説があった。草加の名前の由来は、沼の埋め立てに草も加えたということで「草加」になったと言われている。松尾芭蕉も奥の細道の際に、草加を宿泊したので弟子と共に記念の像がある。草加で一番有名なのは、「草加せんべい」であろう。埼玉三大銘菓(他に川越の芋菓子・熊谷の五家宝)と思っている。草加駅前には、「おせんちゃんの像」(せんべいを焼いている姿の像)もある。せんべい販売店も多く、私も贈答用によく利用する。「せんべい発祥の碑」もあるほどで、上田埼玉県知事の話が去年、直接聞いたときに知事が「埼玉の土産には、保存も利く狭山茶と草加せんべい」と発言していた。草加せんべいが盛んになった背景には、よい米がとれて湧き

水が出て醤油の生産地である野田が近く、船で運ばれたと前述の副読本に書いてあった。ほかに、遠藤閑の相撲部屋が草加にあり、学校では相撲体操が実施されているとか、ハーブの演奏が盛んな町であり、夏には「よさこいサンパ祭り」が開催される。B級グルメの食べ物は、小松菜バーガーがある。産業としては、本染めゆかたや皮革業(埼玉のフレンチエとおおげさに言われている)などがある。たまには、草加駅前観光ルート看板にそった散策も一興である。草加はせんべいのごとく最初は堅い印象であるが、どんどんいい味がでてくると思う。(昭60経 大川成一)

福井・石川合同通信三田会 11.16 全国顧問伏屋重晴氏を迎えて



平日は、素晴らしい秋晴れに恵まれて、十時には伏屋顧問と石川の徳光会長、宮川副会長をJR芦原温泉駅に迎え、十一時から八田会員の司会で会議を開会した。

偉大な思想家、文学者の魯迅(代表作「狂人日記」「阿Q正伝」など)と会い、親切な指導をしたことが、魯迅の脳裏に深く刻まれた。魯迅は、中国に帰国し、医学から文学へ転換して文筆によって祖国を救済しようと決心し、文学家、思想家として活躍したが、終生の恩師として藤野先生を尊敬したということとその偉業をたたえた記念館。筆で国を救うことは、わが母校の福澤諭吉先生に通ずるなど感じ入った。十六時半解散。会議は、和気藹々の中で進行し、貴重な人生経験を拝聴し、大変有意義で楽しいひと時を過ごした。(福井会長 志尾章・記)

平成二六年十一月一日(日)北陸地区合同通信三田会は、福井県あわら市そば処「日の出屋」で全国通信三田会の顧問伏屋重晴氏を迎えて実施した。北陸地区は、石川、富山、福井の三県で実施するのですが、今年には福井が当番で、富山の前田賢次会長は会員全員に連絡を取ったが、都合がつかず欠席するとの返事のため、石川二名、福井六名、来賓一名の九名で名称を福井・石川合同通信三田会に変更して開催した。

当日は、素晴らしい秋晴れに恵まれて、十時には伏屋顧問と石川の徳光会長、宮川副会長をJR芦原温泉駅に迎え、十一時から八田会員の司会で会議を開会した。



